

ESD ユネスコ世界会議交流セミナー報告書

団体名 ジャパンアートマイル (JAM)

【ESD ユネスコ世界会議の成果】

文部科学省参与の鈴木寛氏をパネリストとして迎え「アートマイル国際協働学習で持続可能な未来を拓く次世代を育てる」をテーマにセミナーを開催しました。

＜アートマイル・セミナー＞

1. アートマイルの概要紹介

ジャパンアートマイル代表 塩飽 隆子

2. アートマイル実践校報告

石川県 宝達志水町立樋川小学校教諭 尾崎 久美子

3. パネルディスカッション

【パネリスト】 文部科学省参与 鈴木 寛

兵庫教育大学副学長 福本 謹一

多摩市立南鶴牧小学校長 吉田 正行

ジャパンアートマイル代表 塩飽 隆子

【コーディネーター】東北学院大学准教授 稲垣 忠

日本の教育を考える立場、教員養成の立場、現場の立場、学校支援の立場から未来の教育を議論しました。鈴木寛氏は、「アートマイルは100の論文、1000の論文より全てを含んでいる」と締めくくりました。



【今後の展望】

「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」（通称アートマイル）は、ユネスコがESDの学習プログラムとして奨励しているプロジェクトです。JAMはポスト2015のグローバルアクションプログラム（GAP）にもコミットしており、今後は世界のASPnetとさらに連携を強めていきます。

アートマイルは各国・各地域で実施しているESDの学習を国際協働学習として世界に広げるツールです。JAMは、世界のASPnet加盟国にアートマイルのホスト国が増えて国と国が多重に繋がれば、若い世代の相互理解が深まり、世界の仲間と共に持続可能で平和な未来を切り拓いていくことができると考えています。

アートマイルにはこれまでに57の国と地域から参加がありますが、2020年までにさらに参加国を増やして、東京オリンピックで「アートマイル壁画展」を開催することを計画しています。世界各地から日本に来る選手や観客をその国の子どもたちと日本の子どもたちが一緒に描いた壁画でお迎えする夢のある展示を実現したいと思っています。

